

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
こころ医療福祉専門学校	平成17年2月23日	藤原善行	〒850-0048 長崎県長崎市上銭座町11番8号 (電話) 095-846-5561																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人岩永学園	平成17年2月23日	岩永城児	〒850-0048 長崎県長崎市上銭座町11番8号 (電話) 095-846-5561																				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																		
教育・社会福祉	衛生専門課程	スポーツセラピスト科		平成20年文部科学省 告示第12号	—																		
学科の目的	本校は、医療・福祉・健康・スポーツ・文化教養の分野において、日本国内及びアジア諸国を中心とした諸外国で活躍する、豊かな心を持つ人材を育成することを目的とする。																						
認定年月日	平成27年2月17日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	107単位	510時間	1800時間	240時間	0時間	270時間 <small>単位時間</small>																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
80人	7人	0人	2人	9人	11人																		
学期制度	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～翌年3月31日		成績評価	成績表: 有 成績評価の基準・方法 ・成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価は100点満点とし、60点以上を及第とする。成績評価はA,B,C,Dの4段階に分けて通知する。																			
長期休み	学年始め: 4月1日 夏季: 8月4日～9月9日 冬季: 12月22日～1月14日 学年末: 3月31日		卒業・進級条件	・校納金を期限までに完納していること。 ・当該学年において履修すべき全授業科目に合格すること。 ・各科目において欠席が授業時数の3分の1(実技・実習においては5分の1)を超えていないこと。																			
学修支援等	クラス担任制: 有 個別相談・指導等の対応 ・本人、保護者との電話連絡および面談 ・スクールカウンセリングの紹介		課外活動	課外活動の種類 学生団体活動、ボランティア活動 サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 整骨院、リラクゼーション施設、介護施設、フィットネス施設 就職指導内容 月1回程度専門の講師を招き、就職活動のマナーや面接での接遇などを実践的に学ぶ機会を設けた。また学科独自に校内企業説明会を実施している。		主な学修成果(資格・検定等)※3	国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に係る平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本フィットネス協会ストレッチングエクササイズインストラクター</td> <td>3</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>健康・体づくり事業財団健康運動実践指導者</td> <td>3</td> <td>7人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>日本トレーニング指導者協会トレーニング指導者</td> <td>3</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	日本フィットネス協会ストレッチングエクササイズインストラクター	3	2人	2人	健康・体づくり事業財団健康運動実践指導者	3	7人	5人	日本トレーニング指導者協会トレーニング指導者	3	3人	3人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
日本フィットネス協会ストレッチングエクササイズインストラクター	3	2人	2人																				
健康・体づくり事業財団健康運動実践指導者	3	7人	5人																				
日本トレーニング指導者協会トレーニング指導者	3	3人	3人																				
中途退学の現状	中途退学者 6名 中退率 16.0% 平成29年4月1日時点において、在学者29名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者25名(平成30年3月31日卒業者を含む) 中途退学の主な理由 学生生活不適合、経済的理由 中退防止・中退者支援のための取組 個人面談、三者面談、進路相談、保護者への状況報告、補講、スクールカウンセラーによる相談室の設置																						
経済的支援制度	学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・経済的支援を目的とした授業料減免制度 ・経済的理由により、授業料の納付が困難であると思われる、かつ勉学に対する意欲がある学生は授業料を20万円減免する。 ・卒業生割引 ・卒業後に本校他学科に進学した場合には、入学金免除、卒業した学科の修業年限の期間を授業料減免。 ・ダブルスクール割引 ・2学科を併修した場合、従たる学科の入学金免除、授業料を減免する。 専門実践教育訓練給付: 非給付対象																						
第三者による学校評価	民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																						
当該学科のホームページURL	https://www.kokoro.ac.jp/rigaku.html																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学科では、リラクゼーションサロン、フィットネスジム等で活躍できる人材の育成を目指している。1年次には各分野に共通する分野を必修科目として履修し、2年次には各分野に特化した科目を選択的に履修できるカリキュラムを組んでいる。また、専門分野の技術や知識の習得のみに限らず、国語やパソコン、ビジネスマナー、キャリア教育といった社会人基礎力の育成にも注力している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

本校の各学科の教育カリキュラムの内容について、「より社会のニーズに合ったもの」、「専門力を含めた人間としての総合力」を育む教育推進を目的として、関係業界の委員の御意見をいただく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年9月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
中嶋 孝行	長崎県フットサル連盟 理事長	2018年7月1日～2020年3月31日	①
下村 雅樹	日本健康運動指導士会 副支部長	2018年7月1日～2020年3月31日	③
沖永 さとみ	NPO法人燦々クラブハピネス 代表	2018年7月1日～2020年3月31日	③
藤原 善行	こころ医療福祉専門学校 校長		
藤村 幸一	こころ医療福祉専門学校 副校長		
田川 祐治	こころ医療福祉専門学校 副校長		
野口 大樹	こころ医療福祉専門学校 総務課 課長		
川口 進一郎	こころ医療福祉専門学校 学務課 課長		
古里 尚也	こころ医療福祉専門学校 理学療法科 学科長		
松尾 和香	こころ医療福祉専門学校 介護福祉科 学科長		
中野 仁	こころ医療福祉専門学校 柔道整復科 学科長		
近藤 和史	こころ医療福祉専門学校 健康鍼灸科 学科長		
松川 征平	こころ医療福祉専門学校 スポーツセラピスト科 学科長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

毎年7月と11月の2回開催

(開催日時)

平成29年度第1回 平成29年7月2日 14:00～15:20

平成29年度第2回 平成29年11月12日 14:00～15:20

平成30年度第1回 平成30年7月14日 14:00～15:20

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

資格取得のためだけの講義ばかりにならないように、スポーツトレーニング実践という科目を増やし、授業の中でより実践的な取り組みをできるようにした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生が学内で学んでいることが実社会でどのように役立つかを体験し、そこで得られた知見や経験をもとに、専門分野での知識、学習意欲の向上を図ることを目的としている。併せて、学生が就職を含む将来の進路を考える上で貴重な経験と情報を獲得することを期待している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

業界で活躍する講師を企業から招き授業を実施している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ボディケアⅠ	1年次に修得した基本手技の反復練習を行い最終的には決められた時間内に手技をまとめることができるようになる。また様々な体格に慣れ、就職後に即戦力になれることを目的に行う	リラックスサロンアール
ボディケアⅡ	カルテの作成方法を学び、これまでに修得した手技を応用し、決められた時間内にまとめることができるようになる。また接客マナーも身に付け就職後に即戦力になれることを目的に行う。	リラックスサロンアール
スポーツテーピング実技Ⅲ	基本的なテーピングの理論を学び、実技を身に付ける。	モットアシスト

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

特に本学科で認定校となっている、資格認定、発行団体の研修会、総会等に参加し、業界の動向や最新の情報を得ることで実務に関連した知識、技術・技能ならびに授業及び学生に対する指導力向上に務める。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

健康運動実践指導者実技評価研修会(平成29年9月9日)
平成30年度GFI資格実技教員研修会(平成29年10月26日)
健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会(平成30年3月20日)

②指導力の修得・向上のための研修等

長崎県専修学校各種学校連合会教職員研修会(平成30年3月9日)
ジョブカード研修(平成30年3月15日)
企業グループ講演会(平成30年4月15日)

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

健康運動実践指導者実技評価研修会
健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会
GFI資格実技教員研修会

②指導力の修得・向上のための研修等

年3回の教職員研修会の実施(8月、1月、3月の予定)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自ら評価し、その結果を踏まえて、その改善に努力する。あわせて評価結果を公表することによって、学校としての説明責任を果たし、学校教育の向上を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像、職業教育の特色、学校の将来構想等
(2)学校運営	運営方針、事業計画、教職員組織、コンプライアンス、業務の効率化等
(3)教育活動	業界のニーズを踏まえた教育課程の編成、実践的な教育、授業評価の反映等
(4)学修成果	就職率・資格取得率の向上、退学率の低下、学生の社会的な活躍の把握等
(5)学生支援	進路・就職支援の整備、学生相談体制の整備、経済的な支援体制の整備等
(6)教育環境	教育施設・教育設備の整備、実習等の教育体制、防災対策等
(7)学生の受入れ募集	適切な学生募集、教育効果の公表、校納金の妥当性
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、会計監査、情報公開体制
(9)法令等の遵守	設置基準等の遵守および適正な運営、個人情報保護、情報公開等
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、ボランティア活動・支援、公開講座・教育訓練の実施
(11)国際交流	留学生受入れ、留学生への適切な指導等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員の意見を参考に「各学科の専門力を含めた人間としての総合力」の育成、「社会のニーズ」を感じ取って、「こころ」を込めて社会に貢献できる人材の育成に繋げている。委員の意見を取り入れ、学科運営を実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
大木田 治夫	長崎県リハビリテーション支援センター 事務局長	2018年7月1日～2020年3月31日	業界等委員
志岐 浩二	三原台病院リハビリテーション科 主任	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員
有村 俊男	長崎県介護福祉士会 会長	2018年7月1日～2020年3月31日	業界等委員
松尾 峯子	株式会社修峯デイスサービス花いちもんめ 代表取締役	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員
松本 修	長崎県柔道整復師会 経理部長・理事	2018年7月1日～2020年3月31日	業界等委員
清川 慎介	花みずき鍼灸整骨院 院長	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員
石原 義大	住吉整骨院 院長	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員
諸岡 辰巳	長崎県鍼灸師会 会長	2018年7月1日～2020年3月31日	業界等委員
谷川 幸太	こもれば鍼灸整骨院 院長	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員
川崎 和幸	なかぞの整骨・鍼灸マッサージ院 代表	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員
中嶋 孝行	長崎県フットサル連盟 理事長	2018年7月1日～2020年3月31日	業界等委員
下村 雅樹	日本健康運動指導士会 副支部長	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員
沖永 さとみ	NPO法人燦々クラブハピネス 代表	2018年7月1日～2020年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員, PTA, 卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ)

URL: <https://www.kokoro.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「各学科の専門力を含めた人間としての総合力」の育成、「社会のニーズ」を感じ取って、「こころ」を込めて社会に貢献できる人材の

育成に向けて、県内企業を中心に連携を更に深める事を目的とした情報提供を綿密にする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校法人の沿革、教育理念、学則、ビジョン、学園ポリシー、学科ポリシー等
(2) 各学科等の教育	学科の教育方針、目標資格、カリキュラム、時間割例、学科の教育特徴等
(3) 教職員	教職員数(本務者・兼務者)、組織図、業務分掌
(4) キャリア教育・実践的職業教育	教育課程編成委員会、各学科の取組み、就職状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学園祭、ボランティア活動、学生団体活動
(6) 学生の生活支援	スクールバス運行、スクールカウンセラーによる学生相談、アルバイト先の紹介等
(7) 学生納付金・修学支援	校納金一覧、入学金・授業料減免制度、延納・分納制度、奨学金等
(8) 学校の財務	貸借対照表、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校関係者評価委員会、学校自己評価
(10) 国際連携の状況	特になし
(11) その他	特になし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページにて掲載 URL: <https://www.kokoro.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程スポーツセラピスト科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			スポーツテーピング実技Ⅲ	基本的なテーピングの理論を学び、実技を身に付ける。	2・前	30	1			○	○			○	○
○			スポーツマッサージⅡ	各種スポーツイベントでボディケアブースを設置する際に対応できるように手技を実践的に身に付ける。	2・前	30	2		○		○			○	
		○	トレーニング法の実践	基本的トレーニングの方法を各運動系資格試験に対応して習得する。	2・前	30	2		○		○			○	
		○	健康づくりと運動プログラム	健康づくりを目的とした運動プログラムを作成するための基礎知識を学習する。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	運動指導法理論	目的に応じた簡単なトレーニングプログラムを組めるようになる。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	パーソナルトレーニング関係法規・事業の経営	トレーニング指導者に必要な基本的な知識をもとに、科学的根拠に基づいたトレーニング指導ができる。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	運動処方の実践Ⅱ（陸上運動）	運動生理学の知識に基づいて健康づくりの為の運動指導の知識・技能等を習得する。	2・前	30	2		○		○			○	
		○	運動処方の実践Ⅲ（水中運動）	水中レジスタンス運動及び水中ウォーキングの方法を学び、実際に指導できるように指導技術を学ぶ。	2・前	30	2		○		○			○	
		○	プライオメトリックトレーニング	プライオメトリックトレーニングの理論と実践を行い、伸張－短縮サイクルについて生理学的に理解し、各種エクササイズテクニックを正しく行うことができるようになる。	2・前	30	2		○		○			○	
		○	フィットネス基礎理論	健康運動指導者にとって必要な基礎的知識を学びます。特にグループエクササイズを安全にそして効果的に指導できることを目的とする。	2・前	30	2		○		○			○	
		○	運動指導法研究Ⅰ（健康運動実践指導者対策授業）	健康づくりを目的とした運動プログラムを作成するための基礎知識を学習する。	2・後	60	4		○		○			○	
		○	運動指導法研究Ⅱ（JATI対策授業）	JATI認定トレーニング指導者の試験対策を行う。	2・後	60	4		○		○			○	

		○	運動指導法研究Ⅲ (JAF A対策授業)	フィットネスについての正しい知識を学びエアロビクス等の運動指導をするための技術を習得する。	2・後	60	4		○	○	○							
		○	エクササイズ指導法研究	フィットネスについての正しい知識を学びエアロビクス等の運動指導をするための技術を習得する。	2・後	60	4		○	○								○
		○	スポーツトレーニング実践	様々なエクササイズに取り組むことで、指導者として必要なエクササイズフォームを見せる能力を身に付ける。また、これまで学習した知識や経験を基にトレーニングプログラムを作成し、その指導についても実践する。	2・後	60	4		○	○								○
		○	アロマテラピー	精油の香りに対する感性を呼び覚まし香りの区別ができるようにする。	2・前	60	4		○	○								○
		○	整体療法演習Ⅴ	さまざまな基礎知識を活かし手技療法の基礎技術を学ぶ。	2・前	60	4		○	○								○
		○	整体療法演習Ⅵ	手技だけでなく、明確な施術計画と正確な問診・視診・触診の習得に励む。	2・前	60	4		○	○								○
		○	ボディケアⅠ	決められた時間内に手技をまとめることができるようになる。	2・前	60	4		○	○								○ ○
		○	東洋整体	整体術の原理、効果を理解し全身の筋肉骨格バランスを整えていく手技をトレーニングします	2・前	60	4		○	○								○
		○	整体療法演習Ⅶ	問診、視診、触診を基に各症状別に合わせた手技を習得する。	2・後	60	4		○	○								○
		○	整体療法演習Ⅷ	各時間に与えられるグループワークを通して整体療法師としての総合的なレベルアップを図る。	2・後	60	4		○	○								○
		○	ボディケアⅡ	実際にお客様の症状にあわせて、時間内に手技をまとめることができるようにする	2・後	60	4		○	○								○ ○
		○	リフレクソロジーの理論と実際	全身の癒し効果を及ぼすことができる療法を反射区を通して理解する。足の構造や変形を理解し、カウンセリング・アドバイスに応用する。	2・後	60	4		○	○								○
		○	校外実習Ⅱ	実習先において様々な対象者に対しボディケアの手技やストレッチ等のコンディショニングを向上させるためのアプローチを行う。	1・2・通	120	4			○								○ ○ ○ ○
		○	運動方法実技Ⅱ (各部活競技)	部活への練習参加、大会参加をもって認定する。	2・通	60	2			○								○ ○ ○
合計					26科目		1320単位時間(81単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>卒業要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校納金を期限までに完納していること。 ・必修科目の全ての単位を修得し、選択科目と併せて107単位を修得すること。 ・各科目において欠席が授業時数の3分の1（実技・実習においては5分の1）を超えていないこと。 <p>履修規程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生は、学期の始めの所定の期間に、履修しようとする授業科目を履修届により登録しなければならない。 	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	1 5 週